

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和6年2月10日（土）9時00分～12時00分	天気	晴れ 9.5℃ 51%	
参加者	浅川、安達、伊藤、江成、大塚、小俣、開沼、加藤、川口、北村、吉川、黒岩、白川、田中、田邊、中尾、西原、野口、浜田、平野、藤井、松浦、三浦、目黒（一）、目黒（奈）			計24名
活動内容	森林保全活動			
使用道具	手鋸、ナタ、ウインチ、けん引ロープ、滑車、クサビ、カケヤ（木槌）			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	浅川、中尾、西原、目黒（一）		開沼、川口、黒岩、三浦	
区域	A地区、B地区			
作業内容	①倒木処理、②散策路修復 ③イヌシデ広場、苗木育成地、植生調査地、植樹地の林床整備			



散策路を遮っていた倒木の処理



かかり木となった倒木をウインチで引き倒す準備



スプリング・エフェメラルの一種、キクザキイチゲ



林内を散策されていたお客様との質疑応答

次回の予定：定例活動9:00～
 2月18日（日）イヌシデ広場集合
 2月28日（水）イヌシデ広場集合
 イベント：
 3月2（土）～3（日）大野台公民館祭り
 4月20日（土）2024年度通常総会
 ☆ボランティア募集・経験不問☆
 第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス
 ●2/5の積雪で散策路を遮っていた倒木を処理した。外観に異常は無かったが虫食いにより破損部の辺材はスカスカで、森林管理の難しさを痛感した。
 ●一年の大半を地中の地下茎で過ごす「スプリング・エフェメラル：春のはかない命」の一種「キクザキイチゲ」が落ち葉の下で芽吹き始めた。林内の伐木重機も避けて通行いただいており、環境保全への尽力が大変有難い。
 ●朝礼時に日本固有種のキツツキ「アオゲラ」が登場し臨時観察会が始まった。作業時には保育園からのお客様が会員を観察され、丁寧に応対した。
 ●経年劣化で刈払い機の燃料キャップが割れ、同じくチェーンソーの金属製ブレーキバンドが切れたので、実機を手に販売店で部品を注文した。以上